

第4回 あきる野市地域保健福祉計画策定・推進委員会

議 事 要 旨（要約版）

1 開催日時

令和6年10月9日（水） 午後7時00分～午後8時15分

2 開催場所

市役所 別館3階 第1会議室

3 出欠席

出欠	氏名	所属
出席	鈴木 裕介	明星大学 人文学部福祉実践学科
出席	橋本 克彦	市民の代表
出席	山崎 直子	市民の代表
出席	◎ 松村 昌治	あきる野市医師会
出席	大塚 秀男	秋川歯科医師会
出席	○ 倉田 克治	あきる野市社会福祉協議会
出席	石村 八郎	あきる野市民生児童委員協議会
出席	吉村 幸子	あきる野市健康づくり市民推進委員会
出席	伊藤 元聡	あきる野市民間保育園園長会
出席	森田 康雄	あきる野市障がい者団体連絡協議会
出席	今 裕司	あきる野市介護事業者連絡協議会
出席	田中 藤治	あきる野市高齢者クラブ連合会
出席	平井 裕	西多摩地区保護司会あきる野分区
出席	鈴木 信幸	青梅公共職業安定所
出席	早田 紀子	東京都西多摩保健所

◎:委員長 ○:副委員長

事務局：山田健康福祉部長、宮崎福祉総務課長、田中福祉総務係長、
小林福祉総務担当主査、福祉総務係矢部
(株)コクドリサーチ：崎川、川見、宮川

※ 次期あきる野市地域保健福祉計画の策定に当たり、市では、コンサルティング業務を（株）コクドリサーチに委託している。本委員会には、計画策定に至るまで毎回出席を予定している。市民アンケートの実施や分析、会議の資料作成、意見集約等、計画策定まで携わる。

4 内容

(1) 開会

(2) 挨拶

(3) 報告事項

①あきる野市地域保健福祉計画策定のためのアンケート調査報告書について

(4) 協議事項

①あきる野市地域保健福祉計画（案）について

- ②あきる野市地域保健福祉計画 概要版（案）について
- ③その他
- (5) その他
 - ①第5回あきる野市地域保健福祉計画策定・推進委員会の開催について
- (6) 閉会

【 資 料 】

- 資料1 あきる野市地域保健福祉計画策定のためのアンケート調査報告書
- 資料2 あきる野市地域保健福祉計画（案）
- 資料3 あきる野市地域保健福祉計画 概要版（案）
- 机上配付 計画案 11 ページ・21 ページ（差し替え資料）

5 議事録（発言の主な内容）

(1) 開会 福祉総務課長

(2) 挨拶 松村委員長

福祉総務課長 それでは、委員長からご挨拶をいただきたいと思います。

委員長 計画案も形になってきました。良い計画書が出来上がればと思いますので、ご意見のほどよろしく願いいたします。

(3) 報告事項

①アンケート調査の結果（速報）について

委員長 それでは、報告事項に入ります。はじめに、報告事項①「あきる野市地域保健福祉計画策定のためのアンケート調査報告書について」、事務局より説明をお願いします。

事務局 「第3回あきる野市地域福祉計画策定・推進委員会」につきましては、台風10号のため書面開催となりました。期限の短い中でご意見をご提出いただき、ありがとうございます。本日は主に、前回ご意見をいただいて検討した部分や前回から変更した点についてご説明させていただきたいと思います。
それでは、資料1をご覧ください。「あきる野市地域保健福祉計画策定のためのアンケート調査報告書」につきましては、株式会社コクドリサーチよりご説明させていただきます。

コクド 今回のアンケート調査を支援させていただいております、株式会社コクドリサーチの川見と申します。「第3回あきる野市地域保健福祉計画策定・推進委員会」のご意見を踏まえ、アンケート調査報告書を一部修正させていただきました。主に二つのご意見をもとに修正を行いましたため、いただいたご意見と併せてご報告させていただきます。

1点目のご意見として『アンケートのクロス表の網かけ部分は、特に重要とは思えない』とのご指摘をいただきました。このことから、回答者の属性によって回答に大きな差がみられる箇所のみ網かけを行いました。今回は、網かけを残した箇所についてご説明させていただきます。

はじめに、34ページをご覧ください。こちらは問8-2「地域の行事や活動に参加しない理由」についてお伺いしている設問のクロス集計表となっております。回答の結果として、18～19歳、20歳代～40歳代では「忙しい」、50歳代・60歳代では「町内会・自治会などに入っていないから」、70歳以上では「健康上の理由により、参加が難しいから」と、世代ごとの理由が明確である

こと、また、町内会・自治会の加入者が減っているという課題も伺えることから、網かけを残しております。

続いて、39 ページをご覧ください。問 9 「日常生活で困ったときに、地域の人に手助けしてもらった（もらいたい）こと」についてお伺いした設問のクロス集計表です。市内全域で災害に対する不安が多く、どのブロックの方も災害時の声かけを必要としていることが伺えるため、網かけを外しておりません。

続いて、52 ページをご覧ください。「ボランティア活動に参加しない理由」についてのクロス集計表となっております。先程ご説明いたしました「地域活動への不参加の理由」とほぼ同様の結果となっておりますが、若年層では「忙しい」を、高齢層では「健康状態」を理由にボランティア活動への参加が難しい、という傾向が見て取れます。

最後に 64 ページ、「地域の防災訓練への参加頻度」についてお伺いした設問のクロス集計表です。防災訓練への参加は高齢層中心となっており、若年層と大きな差が見られましたので、網かけをつけたままとしております。

次に、2 点目のご意見です。41 ページ、問 11 「地域の人に手助けできること」について、『必要があれば、手助けをできる方が 50%以上いると、まとめられるのではないか』とのご意見をいただきました。こちらは「災害時の安否確認の声掛け」の回答率が 50%を超えておりましたため、解説文に「回答者のうち、5 割以上の方は必要な時に手助けをすることができることがわかります。」と、新たに文章を追記しております。アンケート調査報告書の修正に関する説明は、以上となります。

委員長

事務局の説明が終わりました。

ご質問・ご意見等がございましたらお受けいたします。

なければ、次に移ります。

(4) 協議事項

①あきる野市地域保健福祉計画（案）について

委員長

はじめに、協議事項「① あきる野市地域保健福祉計画（案）について」です。それでは事務局より説明をお願いします。

事務局

ご説明の前に、先程ご報告しました「あきる野市地域保健福祉計画策定のためのアンケート調査報告書」ですが、以上をもちまして完成とさせていただきます。9 月発行ということで印刷させていただきますので、ご承知おきください。それでは、ご説明させていただきます。本日も協議いただいた内容を反映させた計画案をもって、パブリックコメントを行いますので、どうぞよろしくお願いいたします。資料 2 をご覧ください。計画の全体的なデザインですが、メインカラーを緑色とし、基本目標 1 については水色、基本目標 2 については桃色、包含した「成年後見制度利用促進計画」と「再犯防止推進計画」は紫色と色を分け、より見やすくなるように工夫をさせていただきました。

それでは第 1 章から、いただいたご意見をもとに事務局・福祉サービス連携推進会議において協議した点について、ご説明させていただきます。4 ページをご覧ください。こちらは訂正事項になります。「計画に盛り込むべき事項」（2）地域における福祉サービスの適切な利用の促進に関する事項の「促進」を「推進」に訂正をお願いいたします。

次に 8 ページをご覧ください。SDG s についての説明ですが、『あきる野市が SDG s を推進していることを多くの市民が知らない。唐突に SDG s が出てく

ることに違和感を感じるので、はじめに明記すべきである』というご意見をいただきました。このことから文章を資料2の通り修正させていただきました。また「あきる野市第2次総合計画」となっていますが、「第2次あきる野市総合計画」の誤りですので、訂正をお願いいたします。

次に、第2章に移ります。はじめに、いただいたご意見から表現を変更した部分がありますので、ご説明させていただきます。

27 ページのタイトルですが、以前は「地域福祉にかかる」としておりましたが、よりわかりやすい表現を検討し「地域福祉を推進する」と変更させていただきました。また、同ページ内の「町内会・自治会数及び加入世帯数」の説明文では、『平成30年度に比べて2減少しているが、合併によるものか、解散して空白地区が生じたのか。空白が生じているのであれば、その状況を記載する必要があると考えます』とのご意見をいただきました。このことから、資料2の通り文章を修正いたしました。第2章の内容につきましては、株式会社コクドリサーチよりご説明させていただきます。

コクド

第2章につきましては、「第3回あきる野市地域保健福祉計画策定・推進委員会」の後に修正を行った箇所と本日机上配付となっております差し替え資料の11 ページ及び21 ページについて、ご説明させていただきます。

はじめに、第2章全体で、各項目のグラフに使用している色は、緑を基調とした配色に統一いたしました。

続いて14 ページ・15 ページをご覧ください。ブロックごとの人口比率と人口ピラミッドの情報が見やすくなるよう、レイアウトを変更いたしました。

17 ページをご覧ください。より、子どもや子育て世代を取り巻く動向がわかるように、保育施設の利用状況の推移について、グラフを追加しております。0歳から5歳までの乳幼児人口が減少することに比例して、保育所や幼稚園等の入所・入園者数も減少していることがわかります。

次に本机上配付となっております、11 ページ及び21 ページの高齢者人口について説明させていただきます。以前にも令和6年以降の人口は推計値として記載させていただきましたが、以前とは異なる方法で算出いたしました。今回は、あきる野市の令和元年から令和5年までの住民基本台帳に基づく実績値を用いてコーホート要因法による算出を行いました。コーホート要因法は、出生や死亡等の自然動態や、あきる野市の転入・他地域への転出等の社会動態をもとに、将来の人口を算出する方法となっております。

それでは、差し替え資料の11 ページをご覧ください。人口の推移について、総人口はゆるやかに減少しており、今後も同様の傾向が続くと想定されます。年齢別構成比の推移については、年少人口は減少傾向、生産年齢人口はおおむね横ばいで推移、老年人口は増加傾向と、区分によって推移に違いが見られます。

続いて、同じく差し替え資料の21 ページをご覧ください。前期高齢者数と後期高齢者数に関するグラフになります。グラフから見てとれますように、特に後期高齢者人口の増加傾向が続く推計となっています。第2章と差し替え資料の説明は以上となります。

委員長

事務局の説明が終わりました。ご質問・ご意見等がございましたらお受けいたします。

委 員

資料2の11 ページ「年齢別構成比の推移」で、令和6年の老年人口の構成比が30.9 となっていますが、21 ページ「高齢化率」では30.6 になっています。算出した月日による違いだと思いますが、見る人によっては、同じ年でも数値が異な

っていることについて指摘される方もいらっしゃるかと思います。算出する月日を「高齢化率」の1月1日に合わせるのか、「年齢別構成比の推移」の10月1日に合わせるかによって数値が変わるので、どちらかに統一した方が良いと思います。

コクド 21 ページの高齢化率に関しましては、東京都（市部）の数値と比較するために掲載させていただいておりますが、東京都（市部）のデータが1月1日時点しか確認が出来ないため、この箇所のみ1月1日時点で作成しております。年度の統一については検討させていただきます。

委 員 差し替え資料の11 ページの数値を計算しましたが、11 ページの数値に近くなります。その場合、21 ページの数値は誤りなのではないでしょうか。令和6年では0.3の差ですが、ここまで細かく数値を出しているなら、正確性を期すべきではないかと思います。

コクド こちらは改めて数値を確認し、必要に応じて修正を行わせていただきます。

委員長 ほかにございませんか。

ご意見がなければ、次に移ります。事務局より説明をお願いします。

事務局 それでは、第3章からご説明させていただきます。

39 ページをご覧ください。まず、「基本目標1 ゆるやかにつながるまちをめざそう」の1行目で『「我が事」を「自分事」としてはどうか』とのご意見をいただきました。事務局で検討した結果、「自分事」は自分のことだけですが、「我が事」には「自分に関係すること」という意味がありましたので、「我が事」のままとさせていただきました。

第4章に移ります。42 ページをご覧ください。「施策の展開の構成について」というページを追加させていただきました。第4章の各施策の展開には、「市民が取り組むこと」、「市が実施する主な事業」「社会福祉協議会の事業」、「コラム」を掲載しており、何が記載されているのかがわかりやすくなるように説明をさせていただきます。

43 ページをご覧ください。『「現状と課題」と「施策の方向性」の文末にある【 】内の索引の数字の表示が煩わしい。むしろ第2章の現状のページ数に変えるか、アンケート調査報告書のページ数を表示したほうが良い』とのご意見をいただきました。事務局や福祉サービス連携推進会議で協議をさせていただき、どの施策の展開に該当するのかを記載した【 】は残した方が良いという結論に至りましたため、残しております。【 】は全て右揃えにしております。

44 ページ、施策の方向性の二つ目の文章では、『避難所も追加してはどうか』とのご意見をいただき、「普段から災害時を想定し避難所・避難場所を確認する」と修正させていただきました。

また、第4章全体として『市が取り組むことの抽象度が高いと感じる。課題の要因が明白な部分は、もう少し具体的に記載したほうが良い』とのご意見をいただきました。

45 ページ、施策「（1）地域 みんながつながる支援」、施策の展開「① 地域で活動する人や団体への支援」の「市が取り組むこと」では、「活動する人の負担軽減等を含め、活動しやすい体制づくりをともに考えます」の文章を追加するとともに、『市民の参加を積極的に促す、としてはどうか』とのご意見をいただきましたので、「活動内容について、市の広報紙、ホームページ、メール配信等を用いて周知し、市民の参加を積極的に促します」と修正させていただきました。また、このページのコラムにつきましては、吉村委員にご協力を

いただきまして、「つながる楽しさ、ぜひ味わって！」を掲載させていただきま
した。

次に、施策の展開「② 災害時に助け合える地域づくり」につきましては、あき
る野市メール配信サービスのコラムを掲載させていただきました。

47 ページ、施策「（２）つながるしくみづくりの推進」、施策の展開「① 地域
住民間の交流促進」のコラムは、『ラジオ体操の取組を掲載してほしい』とのご
意見をいただきましたので、あきる野市ラジオ体操連盟の上杉会長にご協力いた
だき、「ラジオ体操で広がる地域の輪」を掲載いたしました。

48 ページ、施策の展開「② 地域活動の中心となる担い手の確保・育成」の「市
が取り組むこと」では、「養成講座に参加しやすくなるように工夫します」と
の文言を加えました。また、コラムにつきましては、あきる野市地域こども育
成リーダーの大久保様にご協力をいただきました。

続いて 49 ページのコラムでは、雨間町内会が立ち上げた、誰でも参加できる
居場所「雨間ほっと」についてご紹介しています。

50 ページ、施策「（３）つながりやすい環境の整備」、施策の展開「① 誰もが
暮らしやすい生活環境の形成」の「市民のみんなができること」では、「公園な
どの公共の場所はきれいに利用しましょう」と修正させていただきました。

51 ページ、施策の展開「② 人権、福祉に対する意識の向上」でも、「市民のみ
んなができること」についてご意見をいただきましたので、「属性にとらわれず、
様々な人とわけへだてなく交流しましょう」と修正いたしました。コラムにつ
きましては、今委員にご協力いただきまして、介護サービス啓発イベント「介護
の日」についてご紹介をしております。

ここで、説明を区切らせていただきます。

委員長 事務局の説明が終わりました。ご意見・ご質問等がございましたらお受けいたしま
す。

ご意見がなければ、次に移ります。事務局より説明をお願いします。

事務局 それでは、第４章の基本目標２の説明に移らせていただきます。

54 ページをご覧ください。施策「（１）隙間なく包括的に受け止める支援体制
の構築」、施策の展開「① 対象者の属性を問わない相談支援の実施」のコラ
ムにつきましては、市の相談窓口について、「はつらつセンター」「障がい者
基幹相談支援センター」「子育て支援総合窓口」に加えて、「生活保護の相談
窓口」を記載いたしました。

次に 55 ページでは、以前は重層的支援体制整備事業の説明を入れておしまし
たが、市の相談支援事業の説明に変更させていただきました。重層的支援体制
整備事業の説明は、57 ページ、施策の展開「④ 相談窓口の連携強化と支援の
充実」に移動しております。また『誰ひとり取り残さないために受け口を広く
したり、支援が必要な所に出向いたりすることも大切ではありますが、受けた
相談に応えられるようにすることのほうが、より優先度が高いと感じます』と
のご意見をいただきましたので、「市が取り組むこと」に、相談に対応する支
援者の資質向上について追記させていただきました。

次に 64 ページをご覧ください。施策の展開「④ 再犯防止の推進」の「市民の
みんなができること」の二つ目の文章については、いただいたご意見をもとに
「罪を犯した人たちが地域の中で立ち直ろうと努力していることを認識しまし
よう」に修正いたしました。

第４章の変更点についての説明は以上となります。

委員長 事務局の説明が終わりました。ご意見・ご質問等がございましたらお受けいたします。なければ、次に移ります。事務局より説明をお願いします。

事務局 それでは、第5章の説明に移らせていただきます。

68 ページをご覧ください。計画の推進体制について、前回の資料から大幅に内容を修正いたしました。まず、本計画が1年ごとの評価が難しい内容であることから、「5年かけてPDCAを活用し、進捗管理を実施する」とさせていだきました。策定・推進委員会において、令和7年度～11年度に何を協議するのかについて、「計画期間中の委員会における協議内容」として記載をさせていただきました。

『この事業に何人参加したからA、何人しか参加しなかったからB』等の評価は、評価基準の設定が難しいと感じております。『今まで行っていなかった取組を実施した』『支援体制を構築し、今まで対応が困難だったケースについて、どのように支援をしたか』等について、委員会で報告を行うことで計画の進捗状況を確認したいと考えております。

次期計画策定に向けて、今回のアンケート調査は策定年度の前の年に実施し、現状と課題を検証した上で、令和11年度に計画を策定する、という流れで進めたいと考えております。

69 ページをご覧ください。前回送付した計画案では、アンケート調査項目の行事やボランティア活動への参加頻度等を評価指標としておりましたが、施策が進んでいるかどうかを市民に確認している項目の方が、より指標に適していると判断いたしました。このことから参考指標として、アンケート調査報告にあります「あきる野市の施策について、進んでいる（充実している）と思いますか」という項目、基本目標については「地域の相談窓口・成年後見制度・成年後見人・保護司・再犯防止に関する取組の認知度について」を設定いたしました。

最後に「資料」についてご説明いたします。72 ページをご覧ください。あきる野市地域保健福祉計画策定・推進委員会の設置要綱と委員名簿を掲載しております。次のページでは、あきる野市福祉サービス連携推進会議の設置要領と委員名簿、76・77 ページには、計画の策定経過として、今年度実施した「あきる野市地域保健福祉計画策定・推進委員会」と「あきる野市福祉サービス連携推進会議」を掲載しております。

78 ページにはパブリックコメントの実施について記載しておりますが、令和7年1月15日から2週間、実施する予定です。その結果につきましては、2月14日に開催いたします「第5回あきる野市地域保健福祉計画策定・推進委員会」でお示しさせていただきます。

79 ページからは、用語の解説を掲載しております。

計画案についての説明は以上となります。

委員長 事務局の説明が終わりました。ご意見・ご質問等がございましたらお受けいたします。

委 員 69 ページの「評価（Check）時の参考指標」ですが、参考指標を掲載するのではなく、具体的な指標を設定するべきだと思います。36 ページに項目ごとに数値が出ており、この数値を前提に参考指標として掲載しているかと思いますが、進んでいる/充実していると思うかについて、『そう思う（「とてもそう思う」と「そう思う」の合計）』の結果をもとに指標を設定して、「目標はこの数値を上回ること」と記載すべきではないでしょうか。また、地域の相談窓口の認

知度についても現状よりも認知度をあげることを目標として掲げることで、今後5年間の目標設定になると思います。

事務局 今いただいたご意見をもとに、「参考指標」ではなく、指標（目標値）をどのように設定するかということをもう一度検討させていただき、パブリックコメントにてお示ししたいと思います。

委 員 もう1点、令和6年度の評価は今年に行うのでしょうか。

事務局 まだ今年度が終わっていませんので、令和6年度の評価は来年に行います。

委員長 よろしくをお願いします。ほかに何かございますか。

委 員 68ページの「PDCAサイクル」の図で、それぞれの頭文字だけ記載されていますが、読まれる方によっては何を意味しているのかがわからない方もいらっしゃるかと思います。

事務局 その通りだと思いますので、もう一度、記載方法を検討したいと思います。

委員長 ありがとうございます。ほかに何かございますか。

なければ次に移ります。

②あきる野市地域保健福祉計画 概要版（案）について

委員長 協議事項「② あきる野市地域保健福祉計画 概要版（案）について」、事務局より説明をお願いします。

事務局 概要版の説明に入る前に、今いただいたご意見につきましては、パブリックコメントまでに修正をさせていただきますが、今後の計画案の確認作業において、誤字脱字が見つかった場合や、表現方法等で修正したほうが良いと判断した部分につきましては、委員長判断で修正をさせていただくことがあると思いますので、ご了承いただければと思います。

それでは、概要版の説明に入ります。資料3をご覧ください。計画案をA3両面2枚の8ページにまとめたものとなります。1ページ目に本計画の説明と基本理念、計画の位置づけ図、2ページ目に基本目標、3ページ目に計画の体系図、4ページ以降は、各施策の展開の「市民のみんなができること」と「市が取り組むこと」を記載いたしました。

1点、訂正がございます。5ページの施策「（3）つながりやすい環境の整備」、施策の展開②で、「人権、福祉に対する意識の向上形成」とありますが「意識の向上」の誤りです。申し訳ございませんが訂正をお願いいたします。

概要版の説明は以上となります。

委員長 事務局の説明が終わりました。ご質問・ご意見等ございましたらお受けいたします。

委 員 概要版は非常に良くまとめられていると思います。5ページの施策の展開②の「市が取り組むこと」の「人権福祉」の記載ですが、計画案51ページのタイトルでは人権と福祉の間に「、」があります。同ページ内の「市が取り組むこと」では「、」はないので、概要版も「、」を入れた方が良いと思います。

委員長 ありがとうございます。ほかに何かございますでしょうか。

委 員 計画案に関する意見になりますが、79ページ以降の「用語の解説」で、「8050問題」や「ダブルケア」、「ヤングケアラー」、「SDGs」等の解説を追加してはどうでしょうか。

事務局 検討させていただきます。

委員長 よろしく申し上げます。ほかに何かございますでしょうか。

委 員 概要版のページ構成は、ばらけた感じで作成されるのでしょうか。ホチキスで留めた時に、真ん中が見づらくなるのではと感じました。

委員長 ありがとうございます。ほかに何かございますでしょうか。

委 員 4、5ページの施策「(2) つながるしくみづくりの推進」、施策の展開「②地域活動の中心となる担い手の確保・育成」の「市が取り組むこと」で「町内会・自治会連合会と連携しながら、町内会・自治会の加入促進活動を支援します」とありますが、その支援とはどのようなことですか。

事務局 町内会・自治会に加入していただけるような周知という形の支援です。市役所にも周知をしているスペースがあり、そういった場や広報紙などで加入を促す旨をお伝えしております。

委 員 今まで何年も連合会と協議しながら支援されているかと思いますが、それでも町内会・自治会の加入率は下がっています。その程度の支援を続けるのではなく、市で専門知識のある人等を集めて委員会を立ち上げて対策を練らないと、町内会・自治会はなくなってしまうと思います。計画には「地域」という言葉がでてきますが、市では「地域」をどの範囲までと考えていますか。

事務局 市としまして、「地域」は「市内全域」と考えております。

委 員 「地域」を「市内全域」と捉えると、この計画を推進することは難しいのではないのでしょうか。私は「地域」は「町内会・自治会単位」くらいを指しているのではないかと思います。また、「災害時に助け合える地域づくり」についても同じです。あきる野市の地域防災では、町内会・自治会の方々が「発災時に未加入者の面倒まで見られない」という声があります。そのため、「地域」を「市民全体」と捉えてしまうと計画内の文章と矛盾が生じます。このような点も踏まえて検討していかないと、いざ災害が起こったときに面倒を見てもらえない人が出てくると思いますので、「地域」の定義を明確にしていきたいです。

事務局 「地域」の考え方ですが、この地域保健福祉計画を策定する中では市全域のことを指す計画でございます。計画の中には、「町内会・自治会」という言葉が出てきていますが、我々も町内会・自治会が一番大きな力ではないかと感じています。「地域」の括りには、「市内全域」「町内会・自治会」「学校単位」等、様々な区分がありますが、主となる「地域」は「町内会・自治会」だと思います。この計画は「人と人がゆるやかにつながる」という計画でありますので、「地域」がどこまでなのかは申し上げられませんが、個々の考えで捉えていただければと思います。また、あきる野市では「三大まつり」がございます。こちらは町内会・自治会の単位でなく、連合のような形で地域全体のお祭りが行われ、地区の内外、市の内外を問わず人が集まり、誰がどこのお祭りに行っても拒むものではありません。小さい単位からそれぞれの人がつながって、そのつながりから町内会・自治会への加入者が増えるように願っております。

委 員 色々考えてくれていることがわかり、計画にもそれを取り入れていただきたいのですが、「町内会・自治会」単位くらいの範囲でないと福祉・防災等の地域活動が難しく、同じ町内で知り合いと協力して活動しているのが現状です。今後も地域活動の範囲が「市内全域」なのか「学校単位」かについては、適宜見極めていく必要があるかと思います。

委員長 ありがとうございます。

町内会・自治会への加入促進に対する活動については、検討の余地があるかと思っています。ご意見にありました委員会の立ち上げ等を行って対策を進められるかも含め、今後決めていく必要があるかと思っています。
ほかには何か、ご意見等はございますでしょうか。
なければ次に移ります。

③その他

委員長 その他になりますが、何かございますでしょうか。
なければ次に移ります。

(5) その他

①第5回あきる野市地域保健福祉計画策定・推進委員会の開催について

委員長 次第（5）その他 ①第5回あきる野市地域保健福祉計画策定・推進委員会の開催について、事務局よりご説明をお願いします。

事務局 第5回あきる野市地域保健福祉計画策定・推進委員会のご説明をさせていただきます。今回は、令和7年2月14日（金）午後7時～8時半、本庁舎5階の503会議室で行います。今年度最後の委員会となりますので、お忙しい中とは存じますが、ご出席、どうぞよろしくお願いいたします。また、本日の会議の議事録につきましては、郵送もしくはメールにてお送りいたします。

委員長 事務局の説明が終わりました。ほかに何かございますか。特になければ、以上を持ちまして議事を終了いたします。それでは、司会を事務局へお返しします。

(6) 閉会

福祉総務課長 皆様、長時間にわたりお疲れさまでした。委員長におかれましては、スムーズな議事進行をありがとうございました。説明にもありましたように、次回の本会議の開催は来年の2月14日になります。それまでの間、何かございましたら福祉総務課までご連絡をお願いいたします。
それでは最後に、副委員長から閉会のご挨拶をお願いいたします。

副委員長 皆様、長時間にわたるご審議、大変ご苦勞様でした。今日いただいたご意見の内容をもう一度事務局で精査し、パブリックコメントにかけていただきます。パブリックコメント終了後に、ご意見のまとめ等が出てくると思いますので、その際にはどうぞよろしくお願いいたします。本日はこれで閉会といたします。